

情報連絡員・関係機関 各 位

高知県中小企業団体中央会
(公印省略)

情報連絡員報告総括表（令和 7 年 11 月次）の送付について

標記総括表を取りまとめましたので、ご参考までに送付いたします。

令和 7 年 11 月次情報連絡員報告のまとめ

※DI とは、「好転」と回答した企業の割合 － 「悪化」と回答した企業の割合。

DI 値がマイナスの場合は、悪化したと回答した企業の数が多いことを示す。

《調査対象：製造業 15 組合等、非製造業 19 組合等 計 34 組合等 回答率：100.0%》

【製造業】では、「売上高」(DI 値▲33.3)は 26.6 ポイント、「設備操業度」(DI 値▲40.0)・「在庫数量」(DI 値▲33.3)は 13.3 ポイント、「雇用人員」(DI 値▲6.7)は 6.7 ポイント、「販売価格」(DI 値 26.7)は 6.6 ポイント前月より悪化した。「収益状況」・「業界の景況」(DI 値▲26.7)は前月と同水準となった。「資金繰り」(DI 値▲0.0)・「取引条件」(DI 値 6.7)は 6.7 ポイント前月より改善した。

【非製造業】では、「収益状況」(DI 値▲31.6)・「在庫数量」(DI 値▲30.0)・「業界の景況」(DI 値▲26.3)・「取引条件」(DI 値▲5.3)・「販売価格」(DI 値 21.1)は前月と同水準となった。「雇用人員」(DI 値▲21.1)は 5.2 ポイント、「売上高」(DI 値▲21.1)は 10.5 ポイント、「資金繰り」(DI 値▲10.5)は 10.6 ポイント前月より改善した。

【全体】では、「設備操業度」(DI 値▲40.0)は 13.3 ポイント、「在庫数量」(DI 値▲32.0)は 8.0 ポイント、「販売価格」(DI 値 23.5)は 3.0 ポイント前月より悪化した。「雇用人員」(DI 値▲14.7)は前月と同水準となり、「取引条件」(DI 値 0.0)は 2.9 ポイント、「資金繰り」(DI 値▲5.9)は 8.8 ポイント前月より改善した。

なお、主要指標については、「売上高」(DI 値▲26.5)は 5.9 ポイント前月より悪化した。「収益状況」(DI 値▲29.4)・「業界の景況」(DI 値▲26.5)は前月と同水準となった。

県内各業界別の動向

<令和7年11月>

高知県中小企業団体中央会

1. 情報連絡員報告総括表

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
		増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
製造業	食料品	1	0	1	0	1	1	2	0	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	1	1
	繊維工業	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
	木材・木製品	0	1	2	0	2	1	0	2	1	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	2	1	0	2	1	0	1	2
	紙・紙加工品	1	1	0	1	0	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0
	印刷	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1
	化学ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	窯業・土石製品	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0
	鉄鋼・金属工業	0	1	1	0	0	2	1	1	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	1	1	0	0	2	0
	一般機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	電気機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	輸送用機器	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0
	製造業その他	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
小計		2	6	7	1	8	6	5	9	1	1	14	0	0	11	4	0	15	0	0	9	6	2	10	3	0	11	4
非製造業	卸売業	1	0	2	0	2	1	1	2	0	0	3	0	0	1	2	0	2	1	X			0	3	0	0	2	1
	小売業	1	1	2	0	2	2	0	3	1	0	3	1	1	1	2	1	2	1				0	2	2	0	2	2
	商店街	0	2	1	0	3	0	2	1	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0				0	3	0	0	2	1
	サービス業	3	0	2	X			1	4	0	1	3	1	1	3	1	0	4	1				0	5	0	1	3	1
	建設業	0	1	1				1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0				0	2	0	0	1	1
	運輸業	0	1	1				0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0				0	0	2	0	2	0
	その他	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0
	小計	5	5	9	0	7	3	5	13	1	1	16	2	2	9	8	1	15	3	X			0	15	4	1	12	6
合計		7	11	16	1	15	9	10	22	2	2	30	2	2	20	12	1	30	3	0	9	6	2	25	7	1	23	10

2. 景気動向指数（売上高、収益の状況、業界の景況）

【10月分集計】

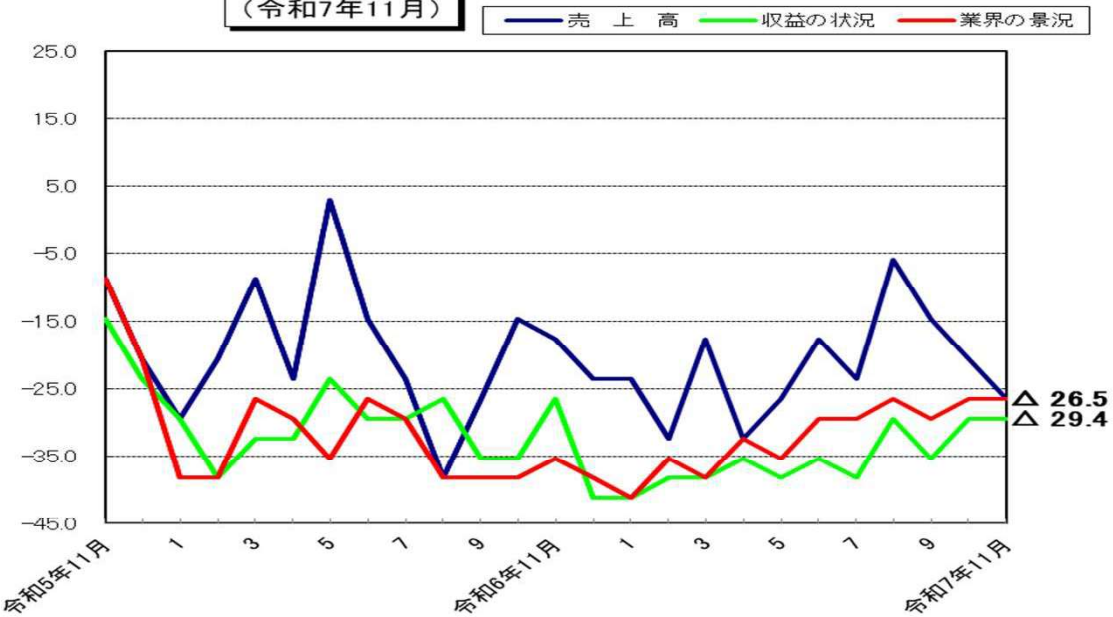
	売上高	収益の状況	業界の景況
製造業	▲ 6.7	▲ 26.7	▲ 26.7
	増加： 3 / 15	好転： 0 / 15	好転： 0 / 15
	不変： 8 / 15	不変： 11 / 15	不変： 11 / 15
	減少： 4 / 15	悪化： 4 / 15	悪化： 4 / 15
非製造業	▲ 31.6	▲ 31.6	▲ 26.3
	増加： 4 / 19	好転： 2 / 19	好転： 2 / 19
	不変： 5 / 19	不変： 9 / 19	不変： 10 / 19
	減少： 10 / 19	悪化： 8 / 19	悪化： 7 / 19
全体	▲ 20.6	▲ 29.4	▲ 26.5
	増加： 7 / 34	好転： 2 / 34	好転： 2 / 34
	不変： 13 / 34	不変： 20 / 34	不変： 21 / 34
	減少： 14 / 34	悪化： 12 / 34	悪化： 11 / 34



【11月分集計】

	売上高	収益の状況	業界の景況
製造業	▲ 33.3	▲ 26.7	▲ 26.7
	増加： 2 / 15	好転： 0 / 15	好転： 0 / 15
	不変： 6 / 15	不変： 11 / 15	不変： 11 / 15
	減少： 7 / 15	悪化： 4 / 15	悪化： 4 / 15
非製造業	▲ 21.1	▲ 31.6	▲ 26.3
	増加： 5 / 19	好転： 2 / 19	好転： 1 / 19
	不変： 5 / 19	不変： 9 / 19	不変： 12 / 19
	減少： 9 / 19	悪化： 8 / 19	悪化： 6 / 19
全体	▲ 26.5	▲ 29.4	▲ 26.5
	増加： 7 / 34	好転： 2 / 34	好転： 1 / 34
	不変： 11 / 34	不変： 20 / 34	不変： 23 / 34
	減少： 16 / 34	悪化： 12 / 34	悪化： 10 / 34

情報連絡員報告
(令和7年11月)



11月の県内各業界別の動向

(前年同月比)

	業 種	売上 受注	在庫 数量	販売 価格	取引 条件	収益 状況	資金 繰り	操業 度	雇用 人員	業界 景況
製造業	食料品（団地） 県食品工業団地	☀	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☂	☁
	〃（酒類） 県酒造	☂	☂	☀	☁	☂	☁	☂	☁	☂
	繊維製品（帆布製品） 県テント・シート	☂	☂	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	木材・木製品（素材） 素材生産業	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	〃（一般/県域） 県木材	☂	☂	☂	☁	☂	☁	☂	☁	☂
	〃（一般/県域） 県建具	☂	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☂	☂
	製紙（機械すき） 製紙工業会	☀	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	製紙（手すき） 県手すき和紙	☁	☂	☁	☁	☁	☁	☂	☁	☁
	印刷（印刷） 県印刷	☂	☁	☁	☁	☂	☁	☂	☂	☂
	窯業・土石（生コン） 県生コンクリート	☂	☁	☁	☁	☂	☁	☂	☁	☁
	〃（コンクリート製品） 県コンクリート製品	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	鉄鋼金属（鍛造） 土佐刃物	☂	☂	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	〃（団地） 機械工業団地	☁	☂	☀	☀	☁	☁	☂	☀	☁
	輸送機器（船舶機械） 四国建機	☁	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☀	☁
	その他製造業（珊瑚） 日本珊瑚	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
非製造業	卸売（団地） 卸商センター	☂	☁	☀	☁	☂	☁		☁	☂
	〃（青果） 高知中央市場青果仲卸	☂	☂	☁	☁	☂	☂		☁	☁
	〃（鮮魚） 高知中央市場鮮魚仲卸	☀	☁	☁	☁	☁	☁		☁	☁
	小売（一般/四万十町） しばてんカード	☂	☂	☁	☂	☂	☂		☁	☂
	〃（家電） 県電機	☀	☂	☁	☁	☀	☀		☁	☁
	〃（中古車） 県中古自動車	☁	☁	☁	☁	☁	☁		☂	☁
	〃（石油） 県石油商業	☂	☁	☂	☁	☂	☁		☂	☂
	商店街（安芸市） 安芸本町	☂	☁	☀	☁	☂	☁		☁	☂
	商店街（高知市） 商帯屋筋	☁	☁	☁	☁	☁	☁		☁	☁
	〃（四万十市） 四万十市商振連	☁	☁	☀	☁	☁	☁		☁	☁
	サービス（旅館） 県旅館ホテル	☀		☁	☀	☀	☁		☁	☀
	〃（飲食店） 喫茶飲食	☀		☀	☂	☁	☁		☁	☁
	〃（旅行） 県旅行業	☂		☁	☁	☁	☁		☁	☁
	〃（情報） IT事業	☀		☁	☁	☁	☁		☁	☁
	〃（クリーニング） 県クリーニング	☂		☁	☁	☂	☂		☁	☂
	建設（一般/県域） 中村地区建設	☂		☁	☁	☂	☁		☁	☂
	〃（電気工事） 県電気工事業	☁		☀	☁	☁	☁		☁	☁
	運輸（トラック） 高知総合輸送	☂		☁	☁	☂	☁		☂	☁
	〃（タクシー） 高知市ハイヤー	☁		☁	☁	☁	☁		☂	☁

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製 造 業	食料品	食料品製造業（団地）	企業によってはバラツキがあるものの、全体的には前月と同様に推移。「あんぱん」効果が継続しており、観光関連の企業は好調を維持。最賃改定への対応や原材料の高騰に腐心している。
		酒類製造業	10月以降の値上げの影響で減少が続く。今秋値上げがなかった業者についても値上げを予定。やはり原料米の価格高騰による異常な状況といえる。
	繊維工業	帆布製品製造業	原材料の高騰について、販売価格への転嫁が出来つつあると思われる。製品の値上げは落ち着いた雰囲気だが、まだまだ厳しい状況である。
	木材・木製品	木製品素材生産業	11月期の原木出材量は、天候等も良かった。また、最盛期を迎えていることから増加している。しかし、丸太価格については、引き合いはあるものの相変わらず製材品の動きがあまり良くなく、全体的に横ばい状況。今後、12月は若干減少するものと思われるが、積雪などがなければ出材量はほぼ横ばいと思われる。原木価格については、市況の動向が悪く大きな変動は見込めない状況。
		一般製材業	県内建築需要は低調で、県外企業の進出もあり厳しい状況が続くとの声が多い。
		建具製造業	個人住宅、公共工事ともに少なかった。組合が組合員に販売した材料も少なかった。
	紙・紙加工品	機械すき紙製造業	紙製品全体としては、先月に続き、販売金額は前年同月比で増加したが、販売量は変化がなかった一方、生産量は少し下回った。品目別では、雑種紙が販売金額、販売量ともに前年同月比で小幅増したのに対し、衛生用紙は販売金額、販売量とも下回った。
		手すき和紙製造業	前月は少し動き出し、売上も少し上向きだったが、今月はお得意先で決算期のところもあり、少し注文控えとなった。なかなか景気回復は感じられない。
	印刷	印刷業	先月に引き続き売上、操業度共多少は改善傾向が見えたが、前年対比は割れている。県内需要は厳しく、特に官公庁の需要がデジタル化によって激減の感。県外需要については一部好調な業種も有り微増か。いずれにしても厳しい状況が継続している。
	窯業・土石製品	生コンクリート製造業	11月度の組合員の単月出荷量は、対前年比85.9%、4月からの累計出荷量も対前年比83.4%で引き続き低調であった。単月出荷量は、中部・高幡地区は増加傾向にあるが、その他の地区は対前年比70～80%前後で減少傾向にある。4月からの累計出荷量も単月と同様な傾向にある。
		コンクリート製品	対前年同月比129.0%。ここ数ヶ月、前年度と比較すると出荷量は多くなっている。災害復旧事業の状況及び補正予算の状況から、今後は前年度並みに推移すると考えている。
	鉄鋼・金属	刃物・金物類製造業	今月は、付属品の入荷が悪く、出荷が思い通りに進まない状況になり、前年を大きく下回ってしまった。受注の方も少し落ちてきた感がある。
		金属製品製造業（団地）	団地内の業況に特段の変化はなく、引き合いの多い一部企業を除き、売上・収益とも横ばいから減少で推移している。
	輸送機器	船舶製造・修理業	高水準の生産が継続している。
	その他の製造業	装飾品・同関連品製造業	11月度の取引額は前年同月比で109%となり、7ヶ月連続で前年を上回る結果となった。しかし、コロナ禍以前の水準までの回復には至っていない。
	卸売業	各種商品卸売業（団地）	12月からの最低賃金アップに伴う労務費増加を見込み、賃上げ交渉を行う企業が多く、年明けからの状況は更に厳しさを増す。との声を多く耳にする。11月は、「あんぱん」効果もひと段落を迎えてきた閑散期ではあるが、中国からの観光客が減少していることもあり、観光、外食は非常に例年より落ちている印象である。景気回復は感じられない。最低賃金改正で、経営は厳しくなる。店頭での動きが良くない。
		青果卸売業	11月の取扱高は組合員全体で前年対比94.3%となった。上昇の気配はあるがまだまだな状況。今年の1月から11月までの累計でも92.7%となり依然厳しい状況が続いている。
		生鮮魚介卸売業	前半はカツオが順調に入荷していた。後半になって、急に少なくなってきた。ブリの入荷がおもわしくなく、年末に向けて不安。数の子、イクラ他、年末商材の値上がりが大きく大変である。
	小売業	各種商品小売業（四万十町）	11月は町内で大きな地域イベントがあったものの、天気も影響し効果は限定的であった。近隣地域の商店街振興団体（スタンプ会）も今年いっぱいでの廃止を決定するなど、地域経済を担ってきた仕組みが先細りしている。個店においては、業種による浮き沈みが顕著になっている。
		電気機械器具小売業	11月度は金額で前年比108.6%。リフォーム関連商品金額で109.3%、4K8Kテレビ前年比93.6%、白物家電平均で前年比103%であった。
		中古自動車小売業	幅広い価格帯の販売及び注文件数が増加傾向にあり、これから繁忙期に向けて店頭在庫の確保も同時に仕入れをしているが、以前からの相場高騰で厳しい状況である。
		ガソリンスタンド	11月27日現在の補助金はガソリン20円・軽油17.1円となっており、軽油については暫定税率に到達したため、これ以上の値引きはなくなった。ガソリンについては残り5.1円が12月11日に補助金が上昇し、それで補助金が打ち止めとなり、年末にはガソリンの暫定税率が廃止となりプラスマイナス0になる。軽油の暫定税率廃止は3月末になりそうであると同時に暫定税率のない灯油・重油については現在も5円の補助が継続されており、このままだと3月末に軽油の暫定税率が廃止になれば、灯油・重油の補助もなくなり5円の値上げとなる。

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
非 製 造 業	商店街	安芸市	今年リーグ優勝を果たした阪神タイガースの秋季キャンプでは、県内外からたくさんの方が訪れた。商店街では、市外から移住した元漁師が営む海鮮居酒屋「笑色」がオープンした。
		高知市	駐車場状況について、11月の駐車場利用台数は、前年同月比112.4%（2,952台増）となった。また、料金収入は前年の110.2%（830千円増）と増加している。人流カメラによる集計では、11月の来街者数は前年同月比3.6%増となった。11/10に阪神タイガース優勝パレードの開催や、11/21～24まで東洋電化中央公園で、「第3回こうちラーメン博」の開催が大きな要因となった。11月のクルーズ船入港数は6隻で、前年と同数であった。免税売上は前年を上回る結果となり、入港当日は午前中から多くの外国人観光客が商店街を訪れ、大変なにぎわいとなった。
		四万十市	商振連・女性部が一條大祭に合わせスタンプラリーを開催。告知のチラシを増やし力を入れた。約2週間の期間であるが地域の商店を行き来する老若男女が増えた。知らない店のドアを開けるきっかけになればと思う。
	サービス業	旅館・ホテル	宿泊の動きは活発であるが、人手不足で受け入れられないケースがある。宴会も忘年会等予約が堅調に伸びている。
		飲食店	先月に引き続き本月も売上高で前年同月をやや上回った。集客は前年度と同程度ながら、販売価格が上昇しているため、売上高も増加している。ただし原料費・光熱費・人件費等の上昇幅はさらに大きく、収益が好転するまでには至っていない。前年同月に比べさらに物価は高騰。光熱費・仕入れ価格・人件費、ありとあらゆるものが上昇しているが、顧客離れによる集客の低下の懸念から業界の価格転嫁は十分ではない。
		旅行業	組合クーポン前年同月対比86%（報告未集計あり）、全旅クーポン合算後前年同月対比109%。前年割れの売上については、好調だった前月の反動であると判断している。
		情報サービス業	11月の売上は前年同月比で約5割増となり、大きく伸長した。前月比でも3割以上の増加となり、上昇基調がより鮮明になっている。今月は複数の大型案件が重なり、過去5年間で最も高い11月の売上を記録。また、例年の11月平均を大きく上回る結果となり、事業の成長性を改めて確認できた。20周年記念パーティーも無事に開催され、多くの関係者から祝意をいただき、節目として大きな励みとなった。さらに、新しいメンバーの加入により体制が強化され、従来とは異なる領域での受注も見込める状況だ。引き続き、積み上げてきた信頼を基に、新規領域への挑戦と安定成長の両立を目指して取り組んでいきたい。
		普通洗濯業	消費者の節約志向は根強く、需要の減少傾向が続いている。特に郡部では著しい。ガソリン価格値下げになったが、資材価格は上昇、最低賃金大幅アップなど経費上昇傾向は変わらない。チェーン店ではコロナ禍の借入返済に加えて、売上に対して家賃・人件費負担が重くのしかかっている。一方リネン、ユニフォーム関係は堅調に推移しているが、人手不足が課題。
	建設業	一般土木建築工事業	工事発注件数の減少により、収益の落ち込みが見られる。地域によって偏りがあるのではないかと意見も出ている。
		電気工事業	組合員の施工する電力引込線工事量は、前年同月比108.5%となった。各地区で増減があったが、全体として8.5%増加した。
	運輸業	一般貨物自動車運送業	軽油税が来年4月1日に廃止が決定した。廃止に向けて政府補助金が増額となったため軽油価格は3円程度の値下げとなったことは年末の繁忙期に向けて好材料ではあるが、先月と変わらず荷動きが鈍く、業績が上向いたとは言えない状況といえる。
		一般乗用旅客自動車運送業	実働1日1車当りの前年同月対比運送収入：101.4%、回数：101.5%、実働率：51.9%。運転者が高齢化しており、退職する者が多くなっているが、反面なかなか新しく希望してくる者が少なく、タクシー事業の先行きを不安視する声もある。稼働率が増えないと経営は厳しい。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	食料品製造業（団地）	中小企業等の動向について、3段階では極端すぎて企業の状況を表せないで5段階にしてほしい。
卸売業	各種商品卸売業（団地）	インボイス制廃止するよう働きかけてほしい。
サービス業	飲食店	業界の売上はコロナ禍以前との比較で8～9割と厳しい。原材料や光熱費の高騰は収益を圧迫、さらにコロナ時の特別貸し付けの返済も始まり、経営が厳しい事業主も多い。そもそも物価高により県内の消費者の購買意欲が相当下がっており、集客が覚束ない。経営状態の改善は急務、補助や助成等事業改善のサポートが必需。
	情報サービス業	補助金などの最新情報があれば教えて頂きたい。
	普通洗濯業	中小企業の人件費上昇に対するの対策をお願いしたい。度々の価格値上げは難しい。消費税は赤字企業には厳しいとの声。インボイス制度も廃止または簡素化できないかとの声。